

第3回 意見交換(テーマ)

「地域づくり推進事業を長房地域全体の取組にしていくためには」

第1回目の内容 (R6.4.20)

- これまでの地域づくり推進事業の取組や参加者アンケートの結果から“**地域への広がりを感じられない**”ということを確認。
- グループに分かれて「**地域への広がりを持たせるためには**」という**テーマで意見交換**を行った。

 主な意見として、取組を“**周知するための手段**”について、多くのアイデアが出てきた。

主な意見 (参考)

- ◆ 推進会議の取組等を参加者各々が所属する団体に持ち帰って周知する必要がある。
- ◆ 子どもの保護者世代は、子どもが持ち帰ってくるチラシを活用して周知することが有効。
- ◆ テレメディア、広報などを情報媒体を活用することも良いのでは。
- ◆ 地域の既存のイベントで「長房の未来をつくる会」の活動を周知するブースを設けてはどうか。
- ◆ 各町会・自治会で回覧板を回すなど、紙ベースで周知することも重要

第2回目の内容（R6.7.20）

- 地域づくり推進事業の取組を広く地域に「周知すること」と同様に、これまでの推進会議の課題とされてきた「やらされ感」や「負担感」の軽減のために“話し合いの内容”が重要であることを再確認。
- 参加する人にとって有意義な話し合いの場とするため、“トークテーマを参加者で決めていく”こととした。



今回は、資料3-1「推進会議で行う意見交換のテーマの検討」をもとにあなたが地域のみなさんと話し合いたいトークテーマを検討。

発表の手順

あなたが地域のみなさんと話したい内容を発表してください。

- ◆ **周知系** 「こんなイベントやります！」
- ◆ **仲間集め系** 「仲間を募集しています！」
- ◆ **困りごとの共有系** 「こんなことに困っています。」
 - 参加者の皆さんに **“声掛け”** を行ってください。
- ◆ **議論系** 「こんなことみんなで話し合いたい！」
 - 参加者に **“想い”** をプレゼンしてください。
 - 参加者から多くの **“共感”** を得られたトークテーマを次回の候補として採用します。

発表の手順

プレゼンの流れ(議論系のみ)

1 発表内容

- そのトークテーマを話したい理由
- イメージしているゴール
- そのためにどんな人に参加してほしいか
- 声掛けはどのように行っていくか

2 質疑応答

3 資料3-1 「トークテーマ検討シート」に共感ポイントを記入



事務局が集計し、次回のトークテーマ候補として採用。
提案者と一緒に役員会にて詳細を検討します。

発表の手順

聞き手側に意識してほしいこと

皆さんのできることを“持ち寄る”イメージで聞きましょう！

- ◆ あなたやあなたが所属する団体に“協力できること” “協力できそうなこと”はあるか。
- ◆ 話し合いを行う上でのアドバイス「こうしたらうまくできるのではないか」「こういう人が知り合いにいるよ」など